

安全を支える

3つの柱

職場





私たちの安全で快適な職場は・・・

◆1 人（労働者） → 柱

◆2 機械・設備） → 柱

◆3 職場環境） → 柱

という3つの柱で支えられています。



点検整備

(作業前点検・月・年次点検)

構造規格の具備
安全装置の維持、
管理等



安全で快適な職場

①

人
(労働者)

運転資格等
危険予知訓練
リスクアセスメント
健康状態(体調)、
服装(身だしなみ)
悩み事
人間関係
リスクテイキング
ヒューマンエラー

②

機 械
設 備

管理体制

③

職場
環境

(4S)

整理
整頓
清潔
清掃

屋外内作業
天候下

(雨・雪・寒い熱い)

作業環境

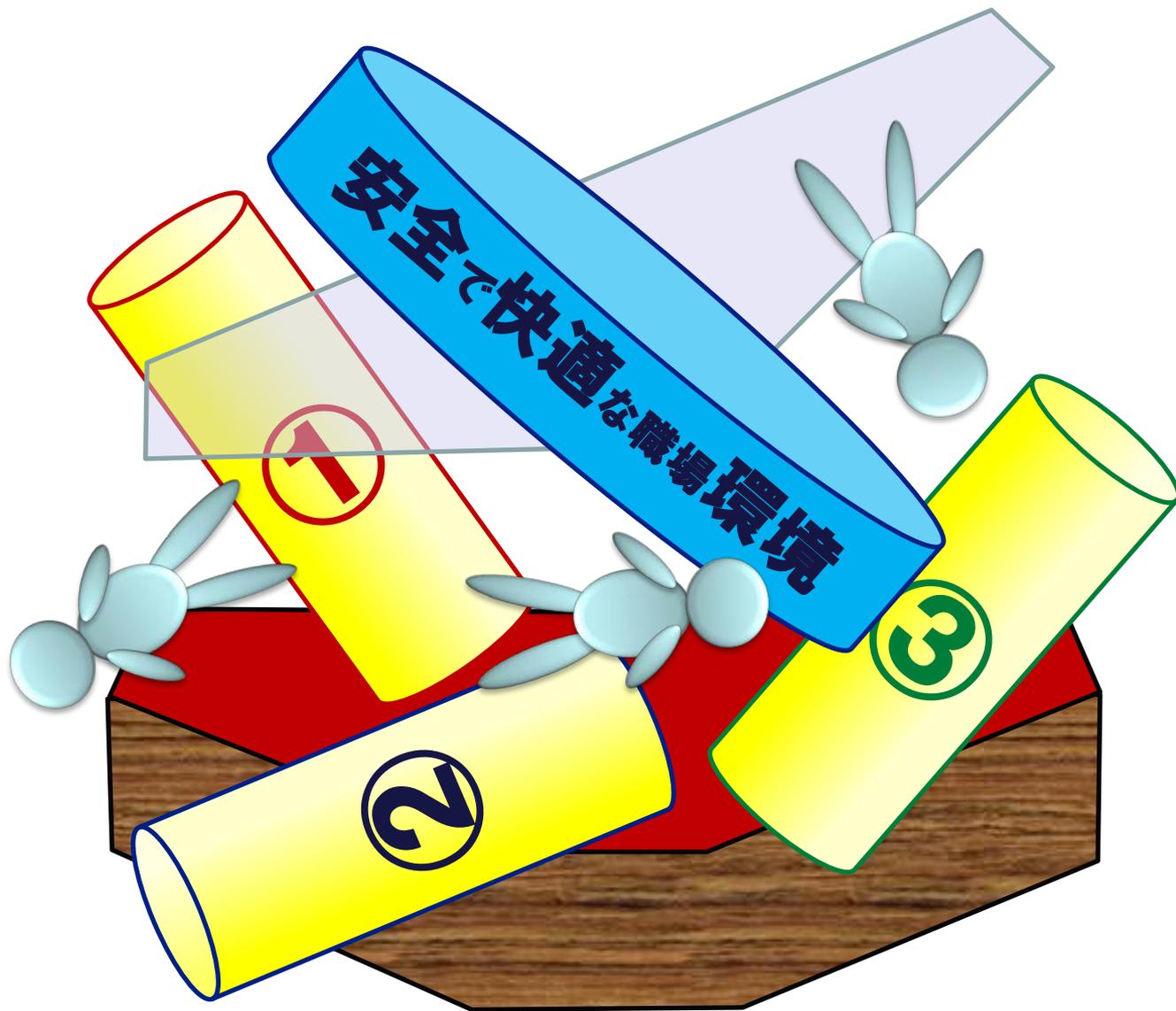
(照明、換気、温
度、騒音、粉じん
、狹等











災害の 発生



労働災害発生の原因

(労働災害原因要素の分析(H22)
厚生労働省による)

① 不安全行動及び不安全状態が起因

94.7%

② 不安全行動のみ

1.7%

③ 不安全状態のみ

2.9%

④ 両方とも無し

0.6%

事故はなぜ起きるのか

職場の環境

➡ 大企業は安全衛生管理がしっかりしている。

機械の故障

➡ 最近では、メンテナンスをしっかりとしていれば故障は少ない

人間のミス (ヒューマンエラー)

➡ 人それぞれ事情を抱えている
体調、疲れ、悩み、あせり等

事故はなぜ起きるのか

職 **少ない** 機

➡ 大企業は安全衛生管理がしっかりしている。

機 **少ない** 障

➡ 最近では、メンテナンスをしっかりとしていれば故障は少ない

人 **多い** ス
(ヒューマンエラー)

➡ 人それぞれ事情を抱えている
体調、疲れ、悩み、あせり等

技術の進歩とともに

**ヒューマンエラーが
事故の第一原因に**

人間は不安全行動を引き起こす

どこでも起こりえる
(全業種・全場面)

ヒューマンエラー
(不注意)

不安全行動

リスクテイキング

能力の限界

できない

錯覚

思い込み・勘違い・取り違い

失念

うっかり忘れる。ぼんやりして忘れる

知識・技量不足

知らない、できない

少しだけだから・・・

面倒だー

少しだけだから・・・

たぶん大丈夫だろう

皆やっているんだから

指差呼称の実践



- 指差し動作・発声 → 脳が活性化
- 対象物に指差し → 対象物に注意が集中
- 指差呼称の一連
の動作 → 時間に余裕が生まれ
短絡的な動作が防げる

危険感受性を

鋭くしましょう。

確認

は、

災害を防ぐ

最後の砦